

テーマ

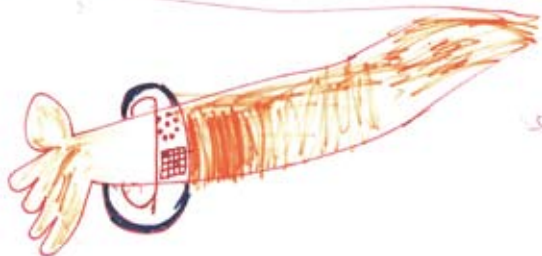
生活の中のユニバーサルデザイン～いろんな人の立場に立って考えよう～

「みやこユニバーサルデザイン賞アイデア賞」

い おし 言い教メーター

すずき こうた
鈴木 康太 大宮小・2年(西賀茂児童館)

目が見えない人は、言い教メーターを考えた。言い教メーターは、うちははめで行きたいところを言った分、まうかえたまみちを行くとまうかえたと、言います。おてきちに行くと、ういんと言います。



腕につけて目的地を話すとナビゲートしてくれます。途中、道を間違えてもどこで間違えたかを教えてくれるため、目的地にたどり着けなくなる心配もありません。

審査員コメント

実際に疑似体験をしてみて、目の不自由な人の地理ナビゲートが出来たら良いなあという素直な気持ちが表現されている。

なが くるま 長さがちょうせつ車いす

てらうち なな
寺内 菜奈 藤ノ森小・3年

わたしがつくった車いすは、自分がとりたいものがとれる車いすです。長さをちょうせつするレバーをひくと、たかさにあわせられます。

審査員コメント

人をお願いする事なく、自分で高い所のものをとったりできるのは車いす利用者にとって便利でいいと思う。



自分がとりたいものがとれる

自分の身長にあわせて

車いすの人にいいと思う

まず、そして車いすの上には、
ひかるランプがめがかりよるでも
安全にかえられるからじこまわらないよ
にからなま。

外国語がわからない方が、字幕や日本語吹替えの助けを得て、洋画を楽しむのと同じように、邦画に**日本語字幕**と場面ごとの状況を説明する**音声ガイド**を付与することで、視覚や聴覚に障害のある方や高齢者等も含めて、みんなが一緒に映画を楽しめるようにした上映方法のこと。バリアフリー上映ということもあります。

こんな人、こんな時にも便利!

最近目が悪くなってきたので、場面の状況を説明する音声ガイドがあるとありがたい。

すとつぷ ごー STOP&GOエスカレーター

ふじ ゆかり
藤 由加利 岩倉南小・5年

全国统一でエスカレーターに色をつけます。左側が赤色で立ち止まる人用になっていて、先に行く人は色のついていない右側を通っていきます。

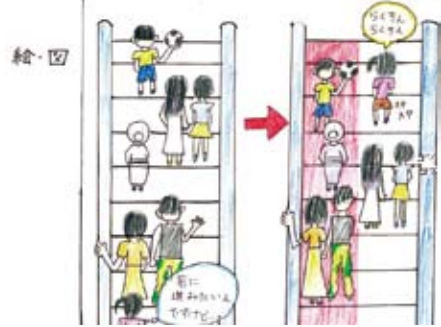
審査員コメント

このアイデアを基に歩行厳禁にするか歩行路表示を作るかの検討が必要では。関東からの観光客も多い京都では混乱が多く生じていて、京都の小学生らしい提案。

商品名 STOP & GO
エスカレーター

機能 全国统一でエスカレーターに色をつける。赤色が立ち止まる人用になっていて、先に行く人は色のついていない側を通っていく。

理由 地域で立つ位置が右・左側とバラバラなので、子供からお年寄りまで分かりやすいように色分けをする。急ぐ人は速いこしやすくなる。



かいだん パンダ階段

いけざわ みき
池澤 美季 桂川中・3年

パンダ
階段



段に色の違いをつけました。

従来の階段だと段の境目がわかりにくく、踏みはずしてしまうおそれがあると思いました。それを解消するため、1つ1つの段がわかりやすいように色の違いをつける工夫をしました。

審査員コメント

高齢者や目の不自由な人たちにとっては、歩くのが困難な階段をパンダの模様と重ねてユーモラスな提案をしている。

審査委員長の所感

今年度は昨年以上の応募があり、この賞が児童館や学校に着実に認知されていると感じました。また学校単位での応募の場合は、学校ごとに類似した提案が多くなっているのが気になりましたが、先生が熱心に指導されている事が応募作品からもうかがえました。青少年の「学び」という観点からは大変好ましい状態であると思います。

小学校低学年からの提案では、生活体験で自分が困った事、誰かが困っている事に気付いての分かり易い具体的な提案が多いのが特徴です。高学年になると社会的な視点が加わった提案が多いのですが、一方、ドラえもんの“どこでもドア”の様な技術的に可能性の無い提案も多くありました。中学生以上の提案では、商品の提案が多くなりますが、「便利グッ

「スカッ」とそう快! ブックカバー

かい
なとう ゆさ
名東 悠沙 岡崎中・3年

お年寄りから幼児まで、少しの力で簡単に取り出すことができ、なおかつ本の題名がひと目見ただけでわかるブックカバーを考えました。

審査員コメント

わかりやすい提案で本棚から本を引き出す時に使いやすくなると思う。素材に工夫が必要かと思うが、独自性や実際に試作している点からも実用化の可能性が考えられる作品。



コンセント押し出し器

お だ き
ふかたに しほ
深谷 志帆 春日丘中・3年

ボタンを押すだけで力の弱いお年寄りや小さな子どもがかたくて抜きにくいコンセントを簡単に抜けるようになっています。

審査員コメント

シンプルにして明快、延長ケーブルでの取り外しは結構面倒な作業である。抜きやすくするため、押し出す工夫をしてみるという発想は斬新だと思う。



ズ]となってしまうと売れる, 売れないといった思考が混入しユニバーサルデザインの目指す幅広い人々への対応という視点が希薄になってしまいます。この部分に関しては指導者が的確に指摘する事が大切です。

今回の審査で多くの時間を割いて審議したことは, 提案する年代ごとの知識の差をどのように扱うかでした。子どもの視点では一見,

使い難い様に思えても, 安全への配慮により実施されている事柄や, 定着したシステムとして既に配慮されていることに気付かず問題として指摘するケースや, また既に類似したものや施設が存在する場合等です。様々な意見が在ったのですが, 提案の前提そのものが成立しない場合は選考から外すこととしました。ただし, 低学年については素直に困っている事を捉えて出されたアイデアは評価しました。

みわ 見分けプルトップ

わかばやし けいしん
若林 慧真 桂川中・3年

小さな文字が読みづらいお年寄り, 日本語の読めない外国人, 子どもがジュースと間違えてアルコールを飲まないように, プルトップに色をつけました。

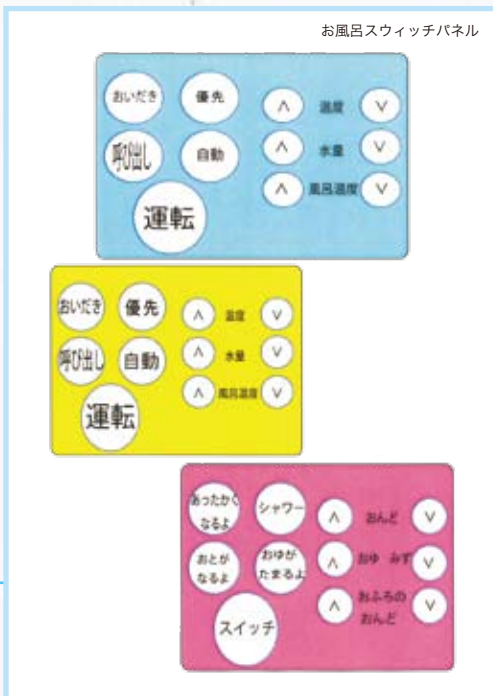
審査員コメント

日常生活の中で, だれもが感じる困りごとに着目し, わかりやすい工夫をしている。子どもや外国人でもわかりやすい表示が実現すれば良いと思う。



ふる お風呂スイッチパネル

いまおか ちか
今岡 知加 京都すばる高校・2年



子どもの頃お風呂のボタンの漢字が読めず, どのボタンが温度調整できるのかわからないという経験がありました。子ども用, 大人用, お年寄り用, 外国人用など使う人によって表記を取りかえるパネルを考えました。

審査員コメント

パネルの表示はわかりにくいものが多いので, ひらがなで状態を示すこの方法は, わかりやすさの表示のあり方にヒントを与えてくれるものだと思う。